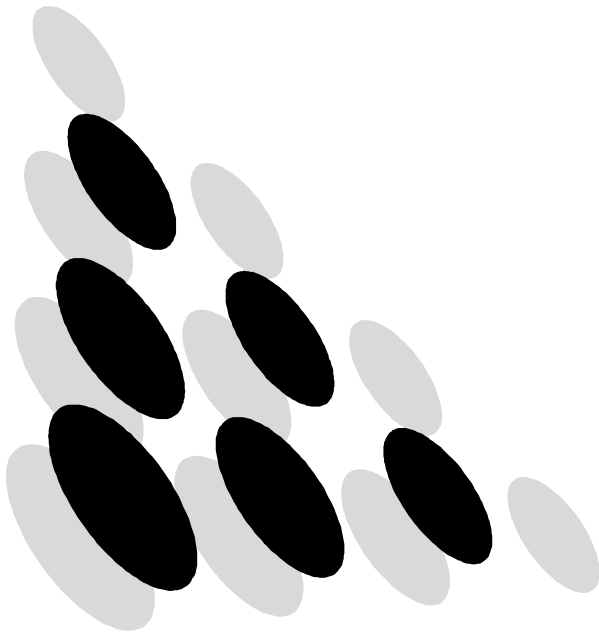


B1FY-6331-01

GRANPOWER5000 シリーズ
サーバモニタモジュール(GP5-SM103)

取扱説明書



はじめに

このたびは、弊社のサーバモニタモジュール GP5-SM103（以降、本製品と記述）をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

本書は、本製品の取扱方法を説明しています。

本書をご覧になり、本製品を正しくお使いいただきますよう、お願いいたします。

1999年11月

当社のドキュメントには「外国為替及び外国貿易管理法」に基づく特定技術が含まれていることがあります。特定技術が含まれている場合は、当該ドキュメントを輸出または非居住者に提供するとき、同法に基づく許可が必要となります。

本製品は、第一種情報装置(商工業地域において使用されるべき情報装置)で商工業地域での電波障害防止を目的とした情報処理装置等電波障害自主規制協会(VCCI)基準に適合しております。
したがって、住宅地域または隣接した地域で使用すると、ラジオ、テレビジョン受信機等に受信障害を与えることがあります。
取扱説明書に従って、正しい取り扱いをしてください。

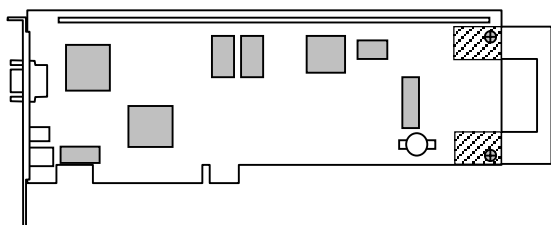
IntelおよびLANDeskは、米国Intel Corporationの登録商標です。

安全にお使いいただくために

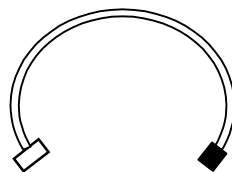
本書には、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に、本書を熟読してください。特に、本書の冒頭の「安全上のご注意」をよくお読みになり、理解された上で本製品をお使いください。また、本書は、本製品の使用中にいつでも参照できるよう大切に保管してください。

梱包物の確認

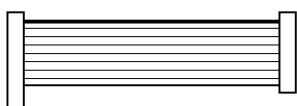
本製品には以下のものが梱包されています。お使いになる前に必ずご確認ください。
万一、足りないものがございましたら、恐れ入りますが担当営業員までお申しつけください。



PCI カード



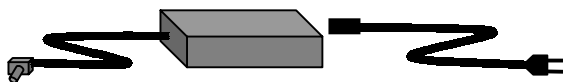
第二温度センサケーブル



拡張機能用ケーブル



第二温度センサケーブル押え



AC アダプタ (本体 + 電源ケーブル)

GP5-SM103 セットアップディスク (フロッピーディスク 2 枚)


保証書


取扱説明書 (本書)


安全上のご注意



ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みになり、内容をよくご理解のうえ、正しく製品をご使用ください。

なお、本書では安全上の注意点を、以下のマークとともに表示しています。

 **警告** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。

 **注意** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性があること、および物的損害のみが発生する可能性があることを示しています。

マーク	内容
 警告	本製品を改造しないでください。火災・感電の原因となります。
	近くで雷が起きたときは、電源ケーブルやモジュラケーブルをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、雷によっては装置を破壊し、火災の原因となります。
	本製品は精密に作られていますので、高温・低温・多湿・直射日光など極端な条件での使用・保管は避けてください。また、製品を曲げたり、傷つけたり、強いショックを与えたりしないでください。故障・火災・感電の原因となることがあります。
	本製品をサーバ本体に着脱する際には、安全のためサーバ本体および接続されている機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた後で行ってください。本製品の AC アダプタの電源プラグもコンセントから抜いてください。電源をいれたまま本製品の着脱を行うと、装置の故障・発煙などが起こる可能性があります。また感電の原因となります。
	機器を移動する場合は、必ず機器の外部に接続されているコード類をすべてはずしてください。コード類が傷つき火災・感電の原因となることや、機器が落ちたり倒れたりしてケガの原因となることがあります。
	表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。また、タコ足は配線をしないでください。火災・感電の原因となります。
	濡れた手で AC アダプタを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
	AC アダプタを傷つけたり、加工したりしないでください。重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったり、加熱したりすると電源ケーブルを傷め、火災・感電の原因となります。
	AC アダプタが傷んだとき、コンセントの差し込み口がゆるいときは使用しないでください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
	AC アダプタの電極、およびコンセントの差し込み口にほこりが付着している場合は、乾いた布でよく拭いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

 警告	<p>使用している電池を取り外した場合は、小さなお子様は電池を誤って飲むことがないように、小さなお子様の手の届かないところにおいてください。万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。</p>
 注意	<p>マニュアルに記載されていない AC アダプタは使用しないでください。また、AC アダプタの改造・分解はしないでください。火災・けがの原因となります。</p> <p>使用中の AC アダプタは、布でおおったり、包んだりしないでください。熱がこもり、火災の原因となります。</p> <p>AC アダプタを抜くときはケーブルを引っ張らず、必ずプラグを持って抜いてください。ケーブルを引っ張ると、ケーブルの芯線が露出したり断線したりして、火災・感電の原因となることがあります。</p> <p>AC アダプタの電源プラグは、コンセントの奥まで確実に差し込んでください。火災・故障の原因となります。</p> <p>マニュアルに記載されていない電池は使用しないでください。また、電池はショートしたり、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れてたりしないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚す原因となります。</p> <p>電池は充電しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚す原因となります。</p> <p>電池を取り付ける場合、極性のプラス (+) とマイナス (-) の向きに注意してください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚す原因となります。</p> <p>ご使用にならない場合は、静電気防止のため付属のカード袋へ入れて保管してください。</p>

目 次

0. 本製品について	0-1
0.1 サーバモニタモジュールとは	0-1
0.2 ハードウェア構成の概要	0-2

1. 本製品の取り付け	1-1
1.1 作業をはじめるまえに	1-1
1.1.1 用意するもの	1-1
1.1.2 留意すること	1-1
1.2 本製品の取り付け	1-2
1.2.1 サーバへの取り付け	1-3
1.2.2 LAN ケーブルの接続	1-3
1.2.3 外付けモデムの接続	1-4
1.2.4 AC アダプタの接続	1-5
1.2.5 取り付けを完了する	1-5
1.3 システム資源のセットアップ	1-6
1.4 本製品の取り外し / 交換	1-7
1.4.1 取り付け	1-7
1.4.2 交換	1-7
1.5 その他の注意事項	1-8

2. ソフトウェアのインストール	2-1
2.1 インストールをはじめるまえに	2-1
2.1.1 用意するもの	2-1
2.1.2 留意すること	2-1
2.2 インストール	2-3
2.3 本製品の IP アドレス設定	2-6
2.4 インストール時のエラーへの対処	2-7
2.5 アンインストール	2-8

3. 参考情報	3-1
3.1 仕様	3-1
3.2 異常時の処置	3-2

本製品について

0

本製品（サーバモタモジュール）の概要について説明します。

0.1 サーバモタモジュールとは

サーバモタモジュールは、サーバの動作状態を監視し、サーバ上で発生するさまざまな問題点やサーバの動作情報を管理者に提供することを目的としたサーバのオプションハードウェア製品です。

サーバモタモジュールは、PCI カード、ケーブル、AC アダプタなどのハードウェアから構成され、関連ソフトウェア（Intel® LANDesk® Server Manager）により制御されます。サーバモタモジュールおよび関連ソフトウェアにより、サーバの POST（Power On Self Test）コードや動作履歴など、サーバに関する詳細な情報を得ることができます。

また、サーバの動作状況や温度、電圧の変動など、サーバの状態を監視し、異常発生時にはサーバをシャットダウンし電源を切断したり、管理者に通知することができます。

なお、関連ソフトウェアについては、関連ソフトウェアのマニュアル（紙またはオンラインマニュアル）を参照してください。

0.2 ハードウェア構成の概要

本製品は、以下のハードウェアの要素から構成されています。

- PCI カード
- 第二温度センサケーブル
- 拡張機能用ケーブル
- AC アダプタ (本体 + 電源ケーブル)
- GP5-SM103 セットアップディスク

また、本製品に、以下のオプションハードウェアを取り付けることができます。

- 外付けモデム (オプション。本製品には含まれません)

本製品の取り付け

1

本製品をサーバに取り付ける手順と方法について説明します。

1.1 作業をはじめるまえに

本製品をサーバへ取り付ける作業をはじめるまえに、あらかじめ以下の物品をご用意ください。また、安全のための注意事項にご留意ください。

1.1.1 用意するもの

作業をはじめるまえに、以下のものをご用意ください。

- 本書
- サーバ本体添付の取扱説明書
- プラスドライバ
- LAN ケーブル (10Base-T)

1.1.2 留意すること

作業をはじめるまえに、以下の注意事項を必ずお読みになり、ご留意ください。

警告 (必ず読んでください)

サーバ本体に添付の取扱説明書にしたがって作業を進めてください。サーバのカバーの取り外しは、はじめにサーバの電源を切り、サーバの後部から電源ケーブルを抜いたあとで行ってください。電源が入ったままだったり電源ケーブルが接続されたまま作業を行うと、サーバの故障や火災・感電の原因となります。

本製品の AC アダプタは、本製品をサーバに取り付け、サーバのカバーを閉めるまで、接続しないでください。本製品の故障や火災・感電の原因となります。

本製品の交換、スロット位置の変更、またはその他のサーバのオプション装置の増設などを実施する場合は、作業を開始する前に、必ず本製品の AC アダプタの電源ケーブルをコンセントから抜いてください。本製品の故障や火災・感電の原因となります。

注意

本製品上の素子やコネクタピンなどにはなるべく触れないでください。静電気により、本製品が故障することがあります。

作業終了後は、サーバのカバーを取り付けたあとに、必ず本製品に AC アダプタを接続し、電源ケーブルをコンセントに接続してください。

1.2 本製品の取り付け

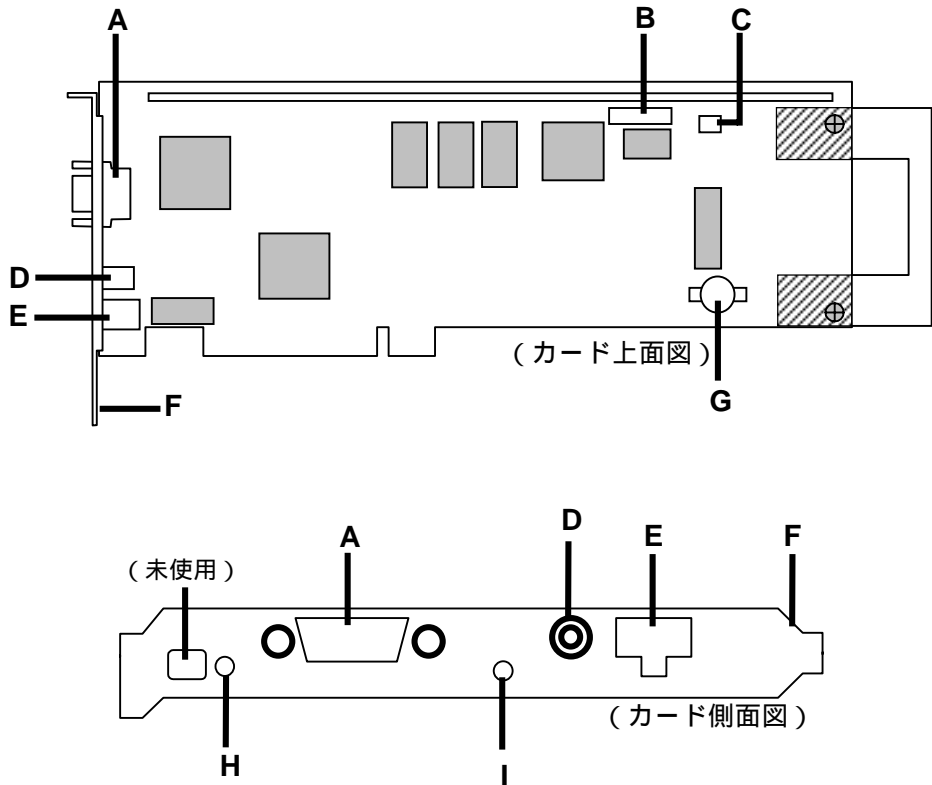


図 1-1. 本製品のレイアウト

- A—シリアルポート（外付けモデム（オプション）接続用）
- B—拡張機能用ケーブル用コネクタ
- C—第二温度センサケーブル用コネクタ
- D—外部電源（ACアダプタ）用コネクタ（内側：+、外側：-）
- E—LANケーブル用コネクタ
- F—ブラケット
- G—リチウム電池（上面：+、下面：-）
- H—電源ランプ
- I—リセットボタン

1.2.1 サーバへの取り付け

本製品を以下の手順でサーバに取り付けます。

1. 第二温度センサケーブルを本製品に接続します。
専用コネクタ（図 1-1, C）に接続します（ケーブルの片方の端だけにコネクタがあるケーブルが第二温度センサケーブルです）。
2. 拡張機能用ケーブルを本製品に接続します。
専用コネクタ（図 1-1, B）に拡張機能用ケーブルの小さい方（20 ピン）のコネクタを接続します（ケーブルの両端にコネクタがある幅広のケーブルが拡張機能用ケーブルです）。
3. サーバ本体に添付の取扱説明書の「内臓オプションの取り付け」にある記述にしたがって、本製品をサーバの PCI 拡張スロットに取り付けます。
4. 第二温度センサケーブルをサーバに取り付けます。
第二温度センサケーブルのセンサ端を同梱の第二温度センサケーブル押えにはさみこみ、裏面の両面テープによってサーバ内に固定します。固定位置については、サーバ本体に添付の取扱説明書を参照してください。
5. 拡張機能用ケーブルをサーバに接続します。
拡張機能用ケーブルの大きい方のコネクタ（24 ピン）をサーバのマザーボード上にある専用コネクタに接続します。接続位置については、サーバ本体に添付の取扱説明書を参照してください。なお、拡張機能ケーブルがサポートされていないサーバ本体をご使用になっている場合には、この作業は必要ありません。
6. サーバ本体に添付の取扱説明書の記述にしたがって、サーバのカバーを閉めます。

注意

サーバ本体に専用の拡張機能用ケーブルが添付されている場合は、本製品に添付されている拡張機能用ケーブルはご使用にならないでください。詳細は、サーバ本体に添付の取扱説明書を参照してください。

GRANPOWER5000 モデル 180 においては、本製品の拡張機能用ケーブルはサポートされておりませんので、本製品に拡張機能用ケーブルを接続しないで下さい。また、その他のサーバにおいても、サーバ本体に添付の取扱説明書をご覧になり、本製品の拡張機能用ケーブルのサポートの有無をご確認ください。拡張機能用ケーブルがサポートされない場合には、本製品に拡張機能用ケーブルを接続しないで下さい。

1.2.2 LANケーブルの接続

ご用意いただいた LAN ケーブル（10Base-T）を接続します。

LAN ケーブル（10Base-T）の一方のコネクタを本製品の LAN ケーブル用コネクタ（図 1-1, E）に、もう一方のコネクタを 10Base-T の HUB に接続します。

1.2.3 外付けモデムの接続

本製品の公衆回線経由通信機能を使用するために、本製品のシリアルポートに、外付けモデム（オプション）を接続することができます。本製品に外付けモデムを接続する場合は、以下の手順で行ってください。

1. サーバの電源が入っている場合には、サーバの電源を切ります。また、本製品の AC アダプタがコンセントに接続されている場合には、本製品の AC アダプタをコンセントから抜きます。
2. 外付けモデム用 RS-232C ケーブルのコネクタを、本製品のシリアルポート（図 1-1, A）に接続します。
3. RS-232C ケーブルのもう一方の端を外付けモデムに接続します。
4. 電話コードの一方の端を、外付けモデムのライン入力ジャックに挿入します。もう一方の端は、電話回線に接続します。
5. 外付けモデムの電源ケーブルをコンセントまたは無停電電源装置に接続します。

ポイント

無停電電源装置をご使用になっている場合は、停電時に公衆回線経由の通信を可能にするために、なるべく外付けモデムの電源ケーブルを無停電電源装置に接続してください。

6. 外付けモデムの電源を入れます。

⚠ 注意

本製品の公衆回線経由通信をサポートするためには、外付けモデム（オプション）が必要です。弊社のカatalogに掲載されている、本製品に接続可能なモデムを、上記手順にしたがって接続してください。

外付けモデムを増設（接続）する場合は、サーバの電源を切り、本製品の AC アダプタをコンセントから抜いてください。また、外付けモデムを接続し終わったら、必ず本製品の AC アダプタを再度コンセントに接続してください。

外付けモデムの詳細な情報については、外付けモデムに添付の取扱説明書を参照してください。

1.2.4 ACアダプタの接続

本製品に、以下の手順で AC アダプタを接続します。

1. 本製品の AC アダプタの本体に電源ケーブルを接続します。
2. 本製品の外部電源 (AC アダプタ) 用コネクタ (図 1-1, D) に、AC アダプタを接続します。
3. AC アダプタの電源ケーブルのプラグをコンセントに接続します。このとき、本製品の電源ランプ (図 1-1, H) が点灯することを確認します。

ポイント

サーバ本体が無停電電源装置 (UPS) に接続されている場合でも、本製品の AC アダプタの電源プラグは、電源コンセントあるいはサーバ本体が接続されている UPS とは別の UPS に接続してください。これにより、サーバ本体が接続されている UPS が故障した場合でも、本製品の動作が可能になります。

⚠ 警告

濡れた手で AC アダプタを抜き差ししないでください。感電の原因となります。

AC アダプタを傷つけたり、加工したりしないでください。重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったり、加熱したりすると電源ケーブルを傷め、火災・感電の原因となります。

AC アダプタが傷んだとき、コンセントの差し込み口がゆるいときは使用しないでください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

AC アダプタの電極、およびコンセントの差し込み口にほこりが付着している場合は、乾いた布でよく拭いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

AC アダプタは表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。また、タコ足は配線をしないでください。火災・感電の原因となります。

⚠ 注意

マニュアルに記載されていない AC アダプタは使用しないでください。また、AC アダプタの改造・分解はしないでください。火災・けがの原因となります。

AC アダプタの電源プラグは、コンセントの奥まで確実に差し込んでください。火災・故障の原因となります。

本製品の AC アダプタに貼付されているシールには、本製品名 (GP5-SM103) は記載されておきませんが、ご使用上の問題はありません。本製品にご使用いただけます。

1.2.5 取り付けを完了する

最初に外したサーバのケーブル類と電源コードを、サーバに添付の取扱説明書の記述にしたがって再度サーバに接続します。

1.3 システム資源のセットアップ

本製品をサーバに取り付けてサーバを起動すると、自動的にシステム資源（I/O ポートアドレス、メモリアドレス、DMA チャンネル、割り込みレベル）が本製品に割り付けられます。しかし、本製品に割り付けることができるシステム資源には制約がありますので、本製品をサーバに取りつけたあとで、本製品に割り付けられたシステム資源のセットアップを行ってください。本製品に割り付けるシステム資源のセットアップ方法は、サーバ本体に添付の取扱説明書の「内臓オプションの取り付け」を参照してください。

注意

本製品は、他の拡張カードおよび装置と割り込みレベル（IRQ）を共有することはできません。本製品の IRQ は、他の拡張カードと共有しないように割り付けてください。IRQ の設定方法はサーバ本体に添付の取扱説明書を参照してください。

割り込みレベル（IRQ）などのシステム資源には、本製品で使用できないものがある場合があります。サーバ本体に添付の取扱説明書をご覧ください。制約がある場合はその制約にしたがってご使用ください。特に、GRANPOWER5000 モデル 580 においては、本製品に IRQ7 を割り当てないようご注意ください。

1.4 本製品の取り外し / 交換

本製品の取り外しおよび交換手順と注意事項について説明します。

警告 (必ず読んでください)

サーバ本体に添付の取扱説明書にしたがって作業を進めてください。サーバのカバーの取り外しは、はじめにサーバの電源を切り、サーバの後部から電源ケーブルを抜いたあとで行ってください。電源が入ったままだったり電源ケーブルが接続されたまま作業を行うと、サーバの故障や火災・感電の原因となります。

本製品の AC アダプタは、本製品をサーバに取り付け、サーバのカバーを閉めるまで、接続しないでください。本製品の故障や火災・感電の原因となります。

本製品の交換、スロット位置の変更、またはその他のサーバのオプション装置の増設などを実施する場合は、作業を開始する前に、必ず本製品の AC アダプタの電源ケーブルをコンセントから抜いてください。本製品の故障や火災・感電の原因となります。

注意

本製品上の素子やコネクタピンなどにはなるべく触れないでください。静電気により、本製品が故障することがあります。

1.4.1 取り外し

本製品を以下の手順で取り外します。

1. 本製品のソフトウェアをインストールしている場合は、本製品を取り外すまえに、本書の「2.5 アンインストール」を参照し、アンインストールします。
2. 取り付け手順と同様にして本製品を取り外します。

1.4.2 交換

故障などにより本製品の PCI カードを交換した場合は、以下の作業が必要になります。

1. 本書の「1.4.1 取り外し」を参照し、本製品を取り外します。
2. 本書の「1. 本製品の取り付け」を参照し、本製品を取り付けます。
3. 本書の「2. ソフトウェアのインストール」を参照し、本製品のソフトウェアを再度インストールします。
4. 交換前に行っていた本製品の各種設定の変更や追加を、バックアップ情報を元にして復元します。
バックアップ情報がない場合には、関連ソフトウェア (Intel® LANDesk® Server Manager : LDSM) から本製品の各種設定を行います。
本製品の各種設定方法、バックアップおよび復元方法については、LDSM のマニュアル (紙またはオンラインマニュアル) を参照してください。

1.5 その他の注意事項

- 本製品を誤った手順でサーバに取り付けると、サーバが正常に起動しなくなる場合があります。本製品をご使用中に、サーバの電源を入れてもサーバが正常に起動しなくなった場合は、いったんサーバの電源を切り、本製品のACアダプタの電源プラグを抜き差ししてください。
- 本製品のリチウム電池（図 1-1, G）は、通常お客様が交換する必要はありません。故障などによるリチウム電池の交換は、弊社担当保守員に依頼してください。
- 本製品は関連ソフトウェア（Intel® LANDesk® Server Manager : LDSM）により制御されます。本製品のサーバへの取り付けが終了したら、LDSM をインストールしてください。詳細はLDSMのマニュアル（紙またはオンラインマニュアル）を参照ください。
- 本オプションカードを使用するには、サーバ本体に添付されている下記のソフトウェアが必須です。

Intel® LANDesk® Server Manager V6.0 L10A 以降

注意：お手持ちのソフトのバージョンが、V6.0 L10 の場合、本オプションカードをご使用になれません。当該ソフトウェア（V6.0 L10）に添付されている「ユーザ登録カード」に必要事項を記入し、弊社ソフトウェアセンタ宛に送付願います。無償で、レベルアップさせていただきます。ユーザ登録カードを紛失された方、新版のソフトを緊急に入手されたい方、等につきましては弊社担当営業までご連絡願います。

- 関連ソフトウェア（Intel® LANDesk® Server Manager : LDSM）から本製品の各種設定の変更や追加を行った場合は、本製品の各種設定をバックアップしてください。故障などにより本製品のPCIカードを交換した場合は、そのバックアップを利用して本製品の各種設定の復元を行ってください。本製品の各種設定のバックアップおよび復元方法については、LDSMのマニュアル（紙またはオンラインマニュアル）を参照してください。

ソフトウェアのインストール

2

本製品のソフトウェアをインストールする手順と方法について説明します。

2.1 インストールをはじめるまえに

本製品のソフトウェアのインストールをはじめるまえに、あらかじめ以下の物品をご用意ください。また、注意事項にご留意ください。

2.1.1 用意するもの

インストールをはじめるまえに、以下のものをご用意ください。

- 本書
- GP5-SM103 セットアップディスク
- サーバ本体添付の Intel® LANDesk® Server Manager (LDSM) の CD-ROM およびそのマニュアル
- サーバ本体添付の ServerWizard CD またはセットアップディスク
- 本製品に割り当てて一意の IP アドレス
ただし、サーバの LAN カード (ネットワークアダプタ [1]) に割り当てられている IP アドレスと同じネットワークセグメントであること

また、インストールをはじめるまえに、本書の「1. 本製品の取り付け」を参照し、本製品をサーバに取り付けてください。

2.1.2 留意すること

インストールをはじめるまえに、以下の注意事項を必ずお読みになり、ご留意ください。

注 意

本製品を使用するには、本製品を取り付けたサーバ本体に添付されている下記のソフトウェアが必須です。

Intel® LANDesk® Server Manager V6.0 L10A 以降

お手持ちの Intel® LANDesk® Server Manager (LDSM) のバージョンが、V6.0 L10 の場合、本製品をご使用になれません。LDSM V6.0 L10 に添付されている「ユーザ登録カード」に必要事項を記入し、弊社ソフトウェアセンタ宛に送付願います。無償で、レベルアップさせていただきます。ユーザ登録カードを紛失された方、新版のソフトを緊急に入手されたい方、等につきましては弊社担当営業までご連絡願います。

2.1 インストールをはじめのまえに

本製品のソフトウェアは、サーバ本体添付の Intel® LANDesk® Server Manager (LDSM) と連携して動作します。本製品のソフトウェアをインストールするためには、LDSM のサーバ監視ソフトウェアがサーバにインストールされていなければなりません。また、本製品を操作するためには、LDSM の管理コンソールソフトウェアが必要です。本製品を使用するために、サーバ本体添付の LDSM の CD-ROM およびそのマニュアルを使用し、サーバにサーバ監視ソフトウェアをインストールし、管理端末に管理コンソールソフトウェアをインストールしてください。

本製品のソフトウェアのインストール方法は、サーバ本体添付の LDSM のバージョンによって異なります。

サーバ本体添付の LDSM のバージョン	本製品のソフトウェアをインストール際に使用する媒体
V6.0 L10A/L20/L20A/L30/L30A/L40	GP5-SM103 セットアップディスク
V6.0 L40A 以降	LDSM CD-ROM

本製品を取り付けているサーバ本体添付の LDSM が下記のバージョンである場合、本製品に添付されている GP5-SM103 セットアップディスクを使用して、本製品のソフトウェアをインストールしてください。インストール方法の詳細は、本書の次節以降を参照してください。

LDSM V6.0 L10A/L20/L20A/L30/L30A/L40

本製品を取り付けているサーバ本体添付の LDSM が下記のバージョンである場合、本製品に添付されている GP5-SM103 セットアップディスクを使用せずに、LDSM CD-ROM から本製品のソフトウェアをインストールしてください。インストール方法は、LDSM のマニュアルを参照してください。

LDSM V6.0 L40A 以降

2.2 インストール

本製品のソフトウェアを、以下の手順でインストールします。

注意

本製品を取り付けているサーバ本体添付の LDSM が下記のバージョンである場合、LDSM から本製品のソフトウェアをインストールしてください。本製品に添付されている GP5-SM103 セットアップディスクは使用しないでください。なお、インストール方法は、LDSM のマニュアルを参照してください。

LDSM V6.0 L40A 以降

本製品を取り付けているサーバ本体添付の LDSM が下記のバージョンである場合、本製品に添付されている GP5-SM103 セットアップディスクを使用して、本製品のソフトウェアをインストールしてください。LDSM から本製品のソフトウェアをインストールしないでください。なお、インストール方法の詳細は、本書を参照してください。

LDSM V6.0 L10A/L20/L20A/L30/L30A/L40

1. サーバ本体添付の LDSM のバージョンが V6.0 L10A/L20/L20A/L30/L30A/L40 のいずれかであることを確認します。V6.0 L40A 以降である場合は、LDSM の CD-ROM およびマニュアルを使用してください。
2. サーバで MS-DOS を起動するために、サーバ本体添付のセットアップディスクのうち「Microsoft® MS-DOS®」と記されたもの、またはサーバ本体添付の ServerWizard CD を用意します。
3. サーバ本体添付のセットアップディスクを使用する場合は、用意したサーバ本体添付のセットアップディスクをサーバ本体のフロッピーディスクドライブにセットし、サーバの電源を入れ、表示されたメニューから「終了」を選択します。プロンプト「A:>」が表示されたら、GP5-SM103 セットアップディスク # 1 をサーバ本体のフロッピーディスクドライブにセットし、次のように入力します。

FLASHALL.BAT 【ENTER】

サーバ本体添付の ServerWizard CD を使用する場合は、サーバの電源を入れ、ServerWizard CD をサーバ本体の CD-ROM ドライブにセットし、表示されたメニューから「SMM Utility(Setup/Test)」を選択します。プロンプトが表示されたら、GP5-SM103 セットアップディスク # 1 をサーバ本体のフロッピーディスクドライブにセットし、次のとおり順に入力します。

B: 【ENTER】

FLASHALL.BAT 【ENTER】

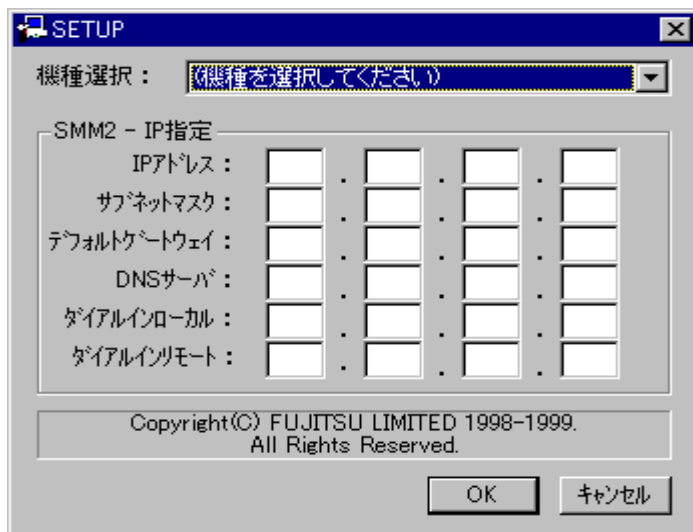
4. 「SMM2 Flash written successfully」というメッセージに続いて、「Please reset SMM2」というメッセージが表示されます。

注意

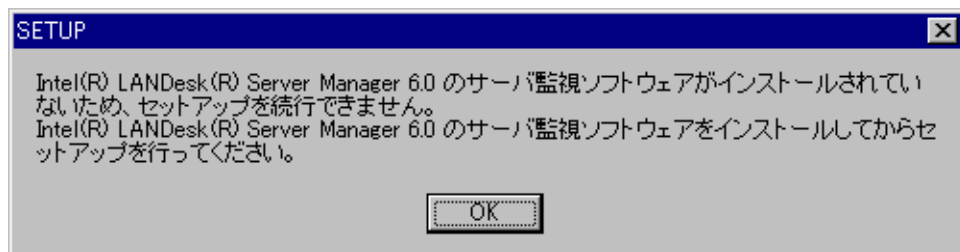
「SMM2 Flash written successfully」と異なるメッセージが表示される場合、SMM2 が故障している可能性があります。

2.2 インストール

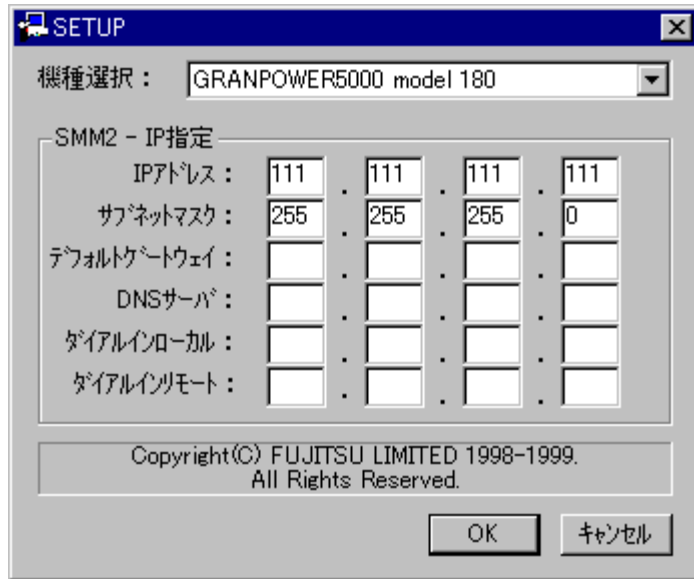
5. 本製品の PCI カードのリセットボタンを押し、本製品をリセットします。
リセットボタンは、鉛筆の先などの尖ったものを使って、本製品の PCI カードの電源ランプが消えるまで押しつづけます。本製品の PCI カードの電源ランプが消えるのを確認したら、リセットボタンから手を離します。
6. サーバ本体のキーボードの任意のキーを押します。
「Please wait about 5 minutes to complete reset of SMM2.」というメッセージが表示されます。メッセージにしたがって、約 5 分待つと、「Please restart your system」というメッセージが表示されます。
7. サーバ本体のフロッピーディスクドライブから GP5-SM103 セットアップディスク # 1 を取り出し、システムを再起動し、サーバの OS を起動します。
8. サーバの OS が起動したら、管理者または同等の権限を持つユーザとしてログインします。
9. 実行中のアプリケーションがあれば、すべて終了します。
10. GP5-SM103 セットアップディスク # 2 をサーバ本体のフロッピーディスクドライブにセットし、エクスプローラから GP5-SM103 セットアップディスク # 2 の「SETUP.EXE」を実行します。
下記の「SETUP」ダイアログボックスが表示されます。



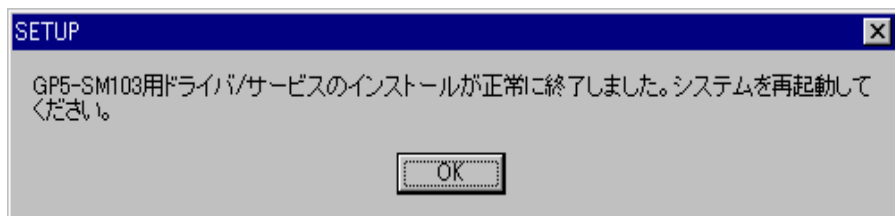
もし、ここで「SETUP」ダイアログボックスが表示されず、次のメッセージが表示されたら、サーバ本体添付の LDSM の CD-ROM およびそのマニュアルを使用し、サーバ監視ソフトウェアをサーバにインストールしてください。インストール後に、再度 GP5-SM103 セットアップディスク # 2 の「SETUP.EXE」を実行してください。



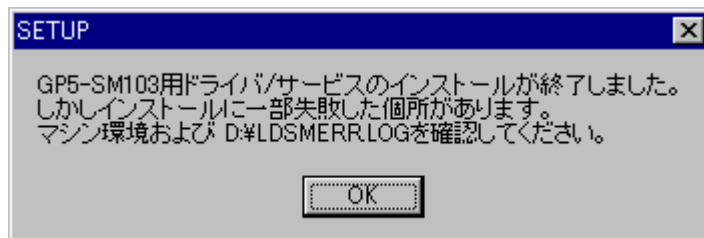
11. 「SETUP」ダイアログボックスの「機種選択」で、本製品を取り付けたサーバの機種を選択します。さらに、「SMM2-IP 設定」に本製品に割り付けた IP アドレスとサブネットマスクを入力し、[OK] ボタンをクリックします。セットアップが開始します。デフォルトゲートウェイ、DNS サーバ、ダイアルインローカル、ダイアルインリモートはここで入力しなくてもインストールを進行できます。これらの詳細については、本書の「2.3 本製品の IP アドレス設定」を参照してください。



12. セットアップが完了すると、次のメッセージが表示されます。[OK] ボタンをクリックした後、サーバの OS を再起動してください。



セットアップが失敗すると、次のようなメッセージが表示されます。この場合は、エラーログ (LDSMERR.LOG) の内容を確認し、さらに、本書の「2.4 インストール時のエラーへの対処」を参照し、再度インストールを行ってください。



2.3 本製品のIPアドレス設定

本製品では、以下の IP アドレスを使用します。この設定は、本製品のソフトウェアのインストール時に行えます。また、本製品のソフトウェアのインストール後に LDSM の管理コンソールソフトウェアから、設定および変更を行うこともできます。

- IP アドレス（インストール時入力必須）
本製品に割り当てる IP アドレスを指定します。
一意の IP アドレスを指定してください。また、サーバの LAN カード（ネットワークアダプタ [1]）に割り当てられている IP アドレスと同じネットワークセグメントになるような値を指定してください。

例）ネットワークアダプタ [1]の IP アドレスが 192.168.1.1 の場合なら、
本製品の IP アドレスとして 192.168.1.2 を入力します。

- サブネットマスク（インストール時入力必須）
本製品のサブネットマスクを指定します。
- デフォルトゲートウェイ
デフォルトゲートウェイがある場合に指定します。
- DNS サーバ
DNS サーバがある場合に指定します。
- ダイアルインローカル、ダイアルインリモート
モデム経由で「SMM2 RAS セッション」機能（公衆回線経由で管理端末から本製品にアクセスする機能）を使用する場合に入力します。ローカル IP アドレスを「ダイアルインローカル」ボックスに、リモート IP アドレスを「ダイアルインリモート」ボックスにそれぞれ下例のように入力します。

例）本製品の IP アドレスが 192.168.1.2 の場合なら、以下の値を入力します。

ローカル IP アドレス 192.168.1.x

リモート IP アドレス 192.168.1.y

x と y には、互いに異なる有効な数値をそれぞれ入力します。

ポイント

ローカル IP アドレスとリモート IP アドレスには、本製品に割り当てる IP アドレスと同じネットワークセグメントになるような値を指定してください。また、ローカル IP アドレスとリモート IP アドレスは、本製品と管理端末の間を、「SMM2 RAS セッション」機能で通信するときのみ使用されるローカルアドレスです。まわりのネットワークには何ら影響を及ぼしません。

2.4 インストール時のエラーへの対処

GP5-SM103 セットアップディスク # 1 使用時

GP5-SM103 セットアップディスク # 1 使用時にエラーが発生した場合は、以下の原因が考えられます。以下に示す対処を行ってください。

1. 本製品のサーバへの取り付けやシステム資源のセットアップが適切でない。
対処方法： 本製品がサーバに正しく取り付けられていない、本製品の IRQ が他のデバイスと共有されている、など、本製品の取り付けやシステム資源のセットアップに関して問題があると考えられます。サーバ本体添付の取扱説明書および本書にしたがって、本製品をサーバに正しく取り付け、システム資源のセットアップをしてから、再度インストールを行ってください。

GP5-SM103 セットアップディスク # 2 使用時

GP5-SM103 セットアップディスク # 2 使用時にエラーが発生した場合は、以下の原因が考えられます。以下に示す対処を行ってください。

1. 本製品のサーバへの取り付けやシステム資源の設定が適切でない。
確認方法： システムイベントログに「ソース名：Emc2」のエラーが記録されます。また、本製品に割り当てた IP アドレスに対して PING コマンドが応答しません。
対処方法： サーバ本体添付の取扱説明書および本書にしたがって、本製品を正しくサーバに取り付け、システム資源のセットアップをしてから、GP5-SM103 セットアップディスク # 1 を使用し、再度インストールを行ってください。その後、GP5-SM103 セットアップディスク # 2 を使用し、再度インストールを行ってください。
2. 本製品に LAN ケーブル (10Base - T) が正しく取り付けられていない。
確認方法： インストール時のエラーログ (LDSMERR.LOG) の内容が「ERROR! : Could not connect to SMM2.」となります。また、本製品に割り当てた IP アドレスに対して PING コマンドが応答しません。
対処方法： 本製品に LAN ケーブル (10Base - T) を正しく接続してから、GP5-SM103 セットアップディスク # 2 を使用し、再度インストールを行ってください。
3. 本製品に割り当てた IP アドレスが適切でない。
確認方法： インストール時のエラーログ (LDSMERR.LOG) の内容が「ERROR! : Could not connect to SMM2.」となります。また、本製品に割り当てた IP アドレスに対して PING コマンドが応答しません。ただし、その IP アドレスを使っているコンピュータがある場合は、PING コマンドに応答することもあります。
対処方法： 本製品に割り当てる IP アドレスを確認してから、GP5-SM103 セットアップディスク # 2 を使用し、再度インストールを行ってください。

2.5 アンインストール

本製品の取り外し / 交換時には、本製品のソフトウェアを、以下の手順でアンインストールします。

⚠ 注意

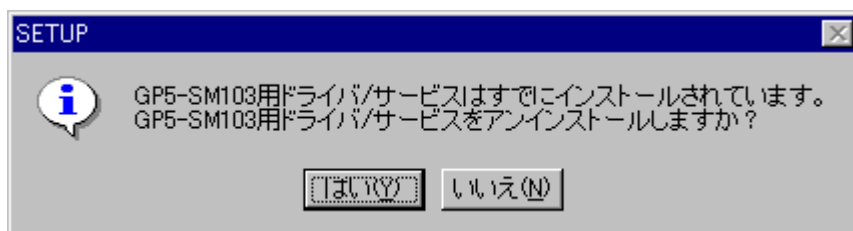
本製品を取り付けているサーバ本体添付の LDSM が下記のバージョンである場合、LDSM の CD-ROM およびマニュアルを使用して、アンインストールを行ってください。本製品に添付されている GP5-SM103 セットアップディスクは使用しないでください。

LDSM V6.0 L40A 以降

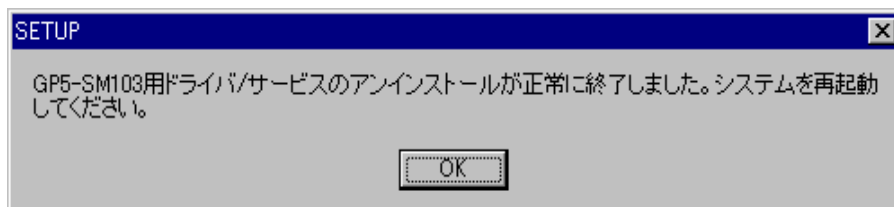
本製品を取り付けているサーバ本体添付の LDSM が下記のバージョンである場合、本製品に添付されている GP5-SM103 セットアップディスクおよび本書を使用して、アンインストールを行ってください。サーバ本体添付の LDSM の CD-ROM を使用して本製品のアンインストールをしないでください。

LDSM V6.0 L10A/L20/L20A/L30/L30A/L40

1. 本製品のソフトウェアをアンインストールするサーバの OS に、管理者または同等の権限を持つユーザとしてログインします。
2. 実行中のアプリケーションがあれば、すべて終了します。
3. GP5-SM103 セットアップディスク # 2 をサーバ本体のフロッピーディスクドライブにセットし、エクスプローラから GP5-SM103 セットアップディスク # 2 の「SETUP.EXE」を実行します。
下記のアンインストール用の「SETUP」ダイアログボックスが表示されます。



4. [はい] ボタンをクリックすると、アンインストールが開始します。
5. アンインストールが完了すると、次のメッセージが表示されます。



6. [OK] ボタンをクリックした後、システムを再起動してください。

参考情報

3

本製品の参考情報を掲載します。

3.1 仕様

品名	サーバモニタモジュール
型名	GP5-SM103
対応スロット	PCI バススロット
搭載 CPU	Intel 386EX
搭載メモリ	不揮発性メモリ : 2MB DRAM : 6MB
Ethernet インターフェイス	10Base-T RJ45 × 1 ポート
モデムインターフェイス	RS-232C D-sub 9 ピン × 1 ポート
温度センサ	2 個 (PCI カード上 + 第 2 温度センサケーブル)
電圧センサ	5 個 (PCI ± 12V/+5V/+3.3V、AC アダプタ+16V)
外部電源入力	DC 9 ~ 16V、1A
外部電源 (AC アダプタ)	入力 : AC100 ~ 240V 出力 : DC16V、2.8A
消費電力	4W 以下
リチウム電池	CR2032 (3V) × 1 個
寸法	長さ 106 ^{mm} × 幅 312 ^{mm} × 高さ 14 ^{mm}
重量	約 0.3Kg (但し、AC アダプタ約 0.3Kg を除く)
使用環境条件	サーバ本体の取扱説明書を参照のこと

3.2 異常時の処置

異常かなと思った時に

本製品をご使用になっている場合に、管理コンソールから本製品にアクセスできないなどの不具合が発生した時は、本製品の故障とお考えになる前に、下記の項目をもう一度お確かめください。

- ・ 管理コンソール (LDSM) のバージョンは V6.0 以上ですか？
- ・ 本製品をサーバに正しく取り付けていますか？
- ・ 本製品に LAN ケーブル (10Base - T) を正しく接続していますか？
(本製品は PING コマンドに応答しますか？)
- ・ 本製品に AC アダプタを正しく接続していますか？
- ・ 本製品にモデムを正しく接続していますか？
(モデム使用時のみ)
- ・ 本製品のソフトウェアを正しくインストールしていますか？
(インストール方法については、本書および Intel® LANDesk® Server Manager のマニュアルを参照してください)
- ・ 本製品のドライバ (ソース名「」) は正常に起動されていますか？
- ・ 本製品の IRQ は他のデバイスとシェアされていませんか？
- ・ 本製品のリセットボタンを押してから、5分以上経過していますか？
(リセットが完了するまでに5分程度かかります)

上記の項目を確認しても、なお不具合が改善されない場合には、下記の処置を A から順に1つずつ、不具合が改善されるまで行ってください。

- A. 本製品のリセットボタンを押す (注)
- B. サーバをリブートする
- C. 本製品用ドライバおよびファームウェアの再インストールを行う
- D. 保守担当員に連絡し、本製品カードの交換などの処置を行う

注) 本製品のリセットボタンを押してからリセットが完了するまでに、5分程度かかります。また、本製品のリセットボタンを押した時に、次のようなエラーメッセージがサーバ OS のイベントログに記録されます。

- ・ NT サーバの場合：
『ソース名 : Emc2、ID : 6』

ドライバのエラーメッセージについて

本製品をご使用になっている場合に、下記の様なエラーメッセージがサーバ OS のイベントログに記録されたり、画面に表示されたりすることがあります。

この場合、上記「異常かなと思った時に」の手順に従って本製品の接続状態の確認などを行ってください。

- ・ NT サーバの場合：
『ソース名：Emc2』または『ソース名：Emc2rw』または『ソース名：Emc2agnt』
のエラー

GRANPOWER5000 シリーズ
サーバモニタモジュール(GP5-SM103)

取扱説明書

B1FY-6331-01-00

発 行 日 1999 年 11 月

発 行 責 任 富士通株式会社

Printed in Japan

- 本書の内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- 本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。
- 落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。